

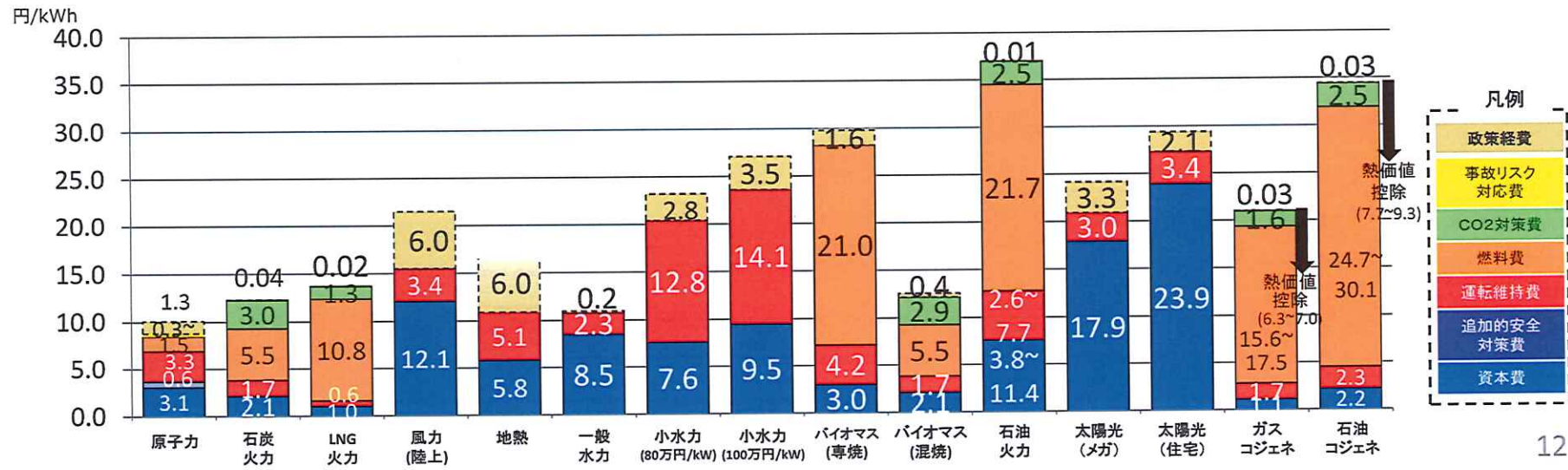
2014年モデルプラント試算結果概要、並びに感度分析の概要

電源	原子力	石炭火力	LNG火力	風力(陸上)	地熱	一般水力	小水力(80万円/kW)	小水力(100万円/kW)	バイオマス(専焼)	バイオマス(混焼)	石油火力	太陽光(メガ)	太陽光(住宅)	ガスコジェネ	石油コジェネ
設備利用率 稼働年数	70% 40年	70% 40年	70% 40年	20% 20年	83% 40年	45% 40年	60% 40年	60% 40年	87% 40年	70% 40年	30・10% 40年	14% 20年	12% 20年	70% 30年	40% 30年
発電コスト 円/kWh	10.1~ (8.8~)	12.3 (12.2)	13.7 (13.7)	21.6 (15.6)	16.9※ (10.9)	11.0 (10.8)	23.3 (20.4)	27.1 (23.6)	29.7 (28.1)	12.6 (12.2)	30.6 ~43.4 (30.6 ~43.3)	24.2 (21.0)	29.4 (27.3)	13.8 ~15.0 (13.8 ~15.0)	24.0 ~27.9 (24.0 ~27.8)
2011コスト 等検証委	8.9~ (7.8~)	9.5 (9.5)	10.7 (10.7)	9.9~ 17.3	9.2~ 11.6	10.6 (10.5)	19.1 ~22.0	19.1 ~22.0	17.4 ~32.2	9.5 ~9.8	22.1 ~36.1 (22.1 ~36.1)	30.1~ 45.8	33.4~ 38.3	10.6 (10.6)	17.1 (17.1)

追加的安全対策費2倍	+0.6
廃止措置費用2倍	+0.1
事故廃炉・賠償費用等1兆円増	+0.04
再処理費用及びMOX燃料加工費用2倍	+0.6

燃料価格10%の変化に伴う影響(円/kWh)	石炭 約±0.4	LNG 約±0.9	石油 約±1.5
------------------------	-------------	--------------	-------------

※1 燃料価格は足元では昨年と比較して下落。それを踏まえ、感度分析を下記に示す。
 ※2 2011年の設備利用率は、石炭:80%、LNG:80%、石油:50%、10%
 ※3 ()内の数値は政策経費を除いた発電コスト
 ※4 地熱については、その予算関連政策経費は今後の開発拡大のための予算が大部分であり、他の電源との比較が難しいが、ここでは、現在計画中のものを加えた合計143万kWで算出した発電量で関連予算を機械的に除した値を記載。





2014年(平成26年)
7月28日
月曜日

東京	10
横浜	10
千葉	10
仙台	10
名古屋	10
大阪	10
福岡	10

朝日新聞東京本社
〒104-8011東京都中央区築地5-3-2 電話03-3545-0131 www.asahi.co.jp

関電、歴代首相に年200万円

計7人 72年から18年献金

関西電力で政界工作を長年担った内藤千百里、元副社長らが朝日新聞の取材に応じ、少なくとも1972年から18年間、在任中の歴代首相7人に「益壽社に千五百円ずつ献金してきた」と証言した。政界全体に配った資金は年間数百万に上ったという。原簿の推測や電力会社の発展が目的で、「原簿はすべて電気料金を充てた」と語った。多額の電力マネーを政権中枢に流し込んだ歴史を記事が実名で明らかにした。

内藤元副社長が証言

内藤氏が献金したと証言した7人は、田中角栄、三木武夫、福田繁夫、大平正芳、鈴木善幸、中曽根康弘、竹下登の各元首相(中曽根氏以外は故人)。



内藤千百里氏—竹花敬明撮影

内藤氏は77年に京大経済学部を卒業し、関電前身の関西電力に入社。02年に原簿を整理し、入金の進め方には政界関係者も驚かされたという。内藤氏は2013年12月、約30年務めた。関電の原簿を約30年務めた。

上、多額の政治献金を電気料金で賄ってきた関電の歴史を詳細に語った。

痛烈な自己批判だ

歴史の関係者から話を聞き取った「オーラルヒストリー」第1巻の御厨貴東大客員教授の話。電力を独占する巨大公益企業の政治献金を中核の役員が明かした衝撃の告白だ。これほど痛烈な自己批判は過去にない。歴史をこのように記述して残そうとする勇氣は、関電は電気料金を使っ

史を詳細に語った。さらには「関電には昔原さんが直接、総理大臣や党の実力者に配る資金があった。トップシークレットだった」と証言。首相や自民党有力者らに毎年2回、益壽社のおいさつと称して各200万〜1千万円の現金を運ぶ慣習があったと明かし、授受の機序も政治家の反応を細かく語った。

当時の政治家個人への企業献金は法律で禁止されてはいないが、電力各社は74年、「政治献金分まで電気料金を賄ってきた」と証言した。献金の理由は「二に電力の安泰。三に国家の繁栄」とし、「天下国家のために渡すカネで、具体的な目的があったわけではない。許可権を握られている電力会社にとって権力に対する

「二つの立ち居振る舞いだ。選挙案のように時間をかけて効果が出ることを期待していた」と強調した。関電広報室は「承知してはいない」と取材に答えた。(編輯もめ 村山浩)

元首相側は否定

内藤氏が献金したと証言した7人の元首相側は取材に対し、「そのような事実はない」と思う。「わからぬ」と答えた。政治資金規正法は金権入キャンダルの穴に改正を課した。ロッキード事件後の1980年に政治家個人が受けた献金の収支報告が義務づけられ、リクルート事件や東京電力川俣事件を受けて99年に政治家個人への企業・団体献金が禁止された。99年までは政治資金収支報告書に記載していれば問題ないが、記載の有無は取材で確認できなかった。

麻生氏パーティー券も購入

電力9社 表面化避け分担保

原発を持つ電力9社が10年以上前から、麻生太郎副総理兼財務相のパーティー券を水面下で分担して購入していたことが朝日新聞の調べで分かった。法律の抜け道を利用し、資金源が表面化しないようにしていた。電気料金を原資にした分担購入が判明したのは甘利明経済再生相に続き2人目。安倍内閣が電力会社の求める原発再稼働を進める一方で、2閣僚には電力業界からの政治資金の公表に踏み切る考えはない。▼39

面々連載「原発利権を追う」複数の電力会社幹部によると、9社は麻生氏のパーティー券を1回につき約100万円分、事業規模に応じて分担して購入。各社の1回あたりの購入額を政治資金規正法上の報告義務がない20万円以下に抑えている。東京電力は2011年の原発事故後にやめたが、他の8社はほぼ同じ金額で

購入を続けてきたという。

麻生氏の関連政治団体「素准会」など複数団体の政治資金収支報告書によると、00年〜12年に年平均約3回、「政経文化セミナー」などの名称の政治資金パーティーを開催。平均的な年間の購入総額は数百万円とみられる。電力各社は麻生氏を甘利氏と並んでエネルギー政策に強い影響力を持つ国会議員と評価し、パーティー券購入額のトップクラスに対応していた。

電力9社によるパーティー券分担保購入のイメージ



麻生氏の事務所は「政治資金規正法に則り適切に処理している」と回答。9電力会社は「個別内容の回答は差し控える」とし、関電は「他社と協力して購入することははない」と付け加えた。(市田隆、砂押博雄、藤森かもめ)

昭和53年8月8日



広報

たかはま



発行 福井県高浜町役場 TEL ② 1111

世帯と人口
 (6月30日現在)
 世帯数 3,219世帯
 人口 11,691人
 男 5,753人
 女 5,938人

高浜町の昭和53年度一般会計予算額27億2,586万8千円

各款別の歳入歳出は次のとおりです。

(単位千円)

歳 入		歳 出	
款	予 算 額	款	予 算 額
町 税	1,005,244	議 会 費	33,359
地 方 譲 与 税	20,120	総 務 費	173,319
娯楽施設利用税交付金	80	民 生 費	662,143
自動車取得税交付金	15,000	衛 生 費	252,549
地 方 交 付 税	1	労 働 費	37,124
交通安全対策特別交付金	1,000	農 林 水 産 業 費	295,857
分担金及び負担金	9,683	商 工 費	41,315
使用料及び手数料	49,711	土 木 費	224,568
国 庫 支 出 金	464,243	消 防 費	70,449
県 支 出 金	139,112	教 育 費	570,448
財 産 収 入	69,899	災 害 復 旧 費	30,553
寄 附 金	2	公 債 費	145,465
繰 入 金	428,517	諸 支 出 金	185,719
繰 越 金	1	予 備 費	3,000
諸 収 入	323,551	合 計	2,725,868
町 債	199,704		
合 計	2,725,868		

以上予算計上致しましたうちで最重点的に計画した事業は次のとおりであります。

1. 内浦小、中学校の建設（校舎、体育館共に鉄筋コンクリートの永久構造）
2. 高浜保育所の建設（鉄筋コンクリート構造とし遊具一式を整備）
3. 公共土木施設の整備（町道の改良、舗装及び下水路の整備、橋梁の改良等）
4. 農林水産施設の整備（ほ場整備事業の推進、農道の新設及び改良、用・排水路の改良）
 （漁港並びに港湾の修築）
5. 商工振興及び観光対策事業の推進
6. 老人、障害者、児童、乳児を対象とした福祉事業並びに同和対策事業の推進
7. 幼児の保育対策並びに小、中学校の教育向上を目指しての教育施設の整備充実

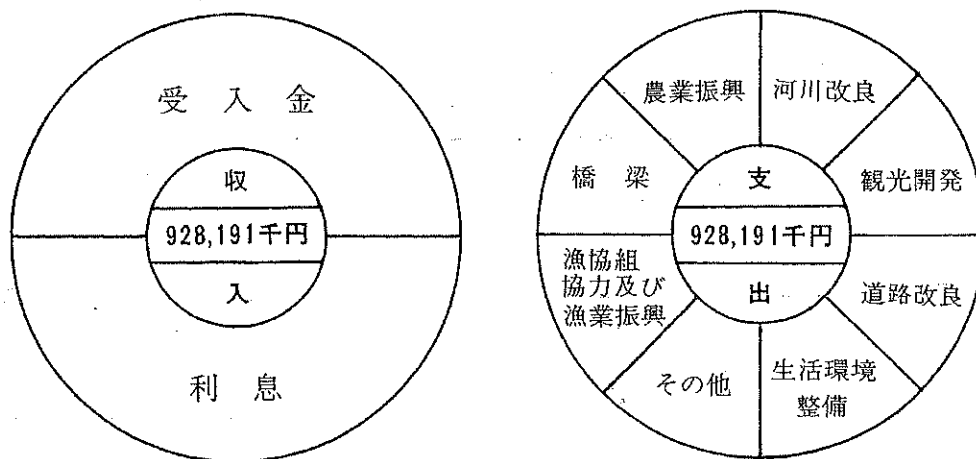
関西電力よりうけた協力金9億円と その利子2,819万1千円について

町民のみなさんに大変御心配をおかけしました関西電力株式会社の協力金9億円とその預け入れた金利2,819万1千円につきまして御説明申し上げます。

先に福井県当局ならびに監査委員より発表のありましたように、これらの金の使途につきましては、まず最初に漁業振興協力と生活環境の整備及び道路橋梁水路等公共事業の推進、並びに漁業振興対策、更に観光開発など巾広く本町発展のために有効に使っております。ちまたに誤った風評が流れておりますが、町は正しく運用致しておりますので何ら御心配には及びません。

これから先も引続いて関西電力株式会社の協力を得ながら執行致して参る所存でありますので、どうか御安心の上今後共町発展に御協力御支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

御参考までに今日まで取組んできました事業内訳を図示致します。



上水道の事故防止についてお願い

待望の水道給水が7月1日スタートしまして毎日順調に運転を続けております。愈々夏場に入り使用水量の増加が見込まれますが、町は常に清浄な水の管理に努めておりますので使用される皆さんの御協力をお願いいたします。

- 止水栓、メーター器を勝手にいじらないようにしましょう。
- 配管工事は僅かなことでも必ず町の指定業者に依頼するようにしましょう。
- 上水道と上水道以外の水管（ポンプ等）その他の設備に直接連結しないようにしましょう。
- 毎月末に検針に伺いますメーター器筐の上に物を置かないようにしましょう。